



高梁川流域
CROSSING

くらしき協力隊通信

2024.11 着任号

着任のご挨拶

私は、これまで培ってきたアニメ制作の技術とノウハウを地域に還元し、地元産業の発展に貢献したいと考え倉敷市地域おこし協力隊に応募しました。アニメ制作の現場で20年以上従事してきた実績、また、地方スタジオや海外スタジオの設立経験を通じて得た知識を、倉敷市の地場産業としてのアニメ制作の普及に役立てたいと思っています。

「アニメでひと、まち、しごとを創世する」 目的の元、高梁川流域圏で地域に根ざしたアニメを中心としたコンテンツビジネス産業を活性化を目指します。



活動の骨子

いま、日本のアニメ産業は、堅調な海外需要を背景に、次世代の成長産業としての期待が高まっています。政府は、本年6月に**「新たなクールジャパン戦略」**を公表し、我

が国のコンテンツ産業を基幹産業に位置付けたうえで、海外市場規模を2028年までに10兆円、2033年までに20兆円以上にすることを目標としています。

このうち3割がアニメとすれば、6年で2倍、11年で4倍に拡大する見通しになります。新たな産業の創出のためにも、**倉敷市の持つ豊かな文化や歴史をアニメの力で発信し、地域の魅力を内外に広める**お手伝いができればと思っています。この取り組みが、倉敷市の地域活性化に繋がると信じており、その一翼を担うことができることに大きな意義を感じております。

今後の展望

地域の教育機関と連携し、アニメコンテストを継続的に開催することで、若い世代にアニメ制作の魅力を伝え、地域のクリエイティブ産業の活性化を図りたいと考えています。そのために、まずは**高等学校を中心とした教育機関でのアニメ基礎教育について模索中**です。また過去に宮城県白石市や仙台市で行った**緊急雇用創出事業対策の経験**を活かし、アニメ制作に興味を持つ未経験者にも技術を伝え、地域全体の雇用創出にも寄与したいと考えております。

教育機関との連携

着任してから高校での体験授業などを行ないました。



【倉敷市学び学舎：倉敷翠松高等学校】



【倉敷青陵高等学校】

プロフィール

氏 名：安藤圭一

担当業務：

高梁川流域圏のアニメを中心としたコンテンツビジネス産業の活性化

出身地：神奈川県横浜市

経 歴：

アニメ業界に20年以上従事し、プロデューサーとして携わったタイトルも多岐に渡ります。